

# 東京デザイン専門学校 学校関係者評価報告書

(令和7年度)

実施日 令和8年(2026年)3月10日

※令和7年度学校自己評価(基準日:令和7年(2025年)9月30日)  
をもとに評価実施

学校法人原宿学園  
東京デザイン専門学校

## 令和7年度 学校関係者評価報告書について

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校は、すべての教育活動・学校運營業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成15年度(2003年度)より学校自己評価を実施しています。また、平成21年度(2009年度)には、本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。平成25年度(2013年度)からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施しています。その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・デザイン関連業界団体の皆様やデザイン・教育等に見識をお持ちの方々に令和7年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより良い学校となるべく教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8年(2026年)3月  
学校法人原宿学園 東京デザイン専門学校  
学校長・学校評価委員会委員長 小林登志子

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省、東京都ほか関係行政機関のご指導をふまえ、卒業生、デザイン関連業界団体・企業、近隣団体等5名の方々に評価委員をお願いいたしました。（詳細は次頁をご覧ください）

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver. 4（文部科学省生涯学習政策局による専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、令和8年(2026年)3月10日(火)にWEB会議システム（Zoom）を利用してご参集いただき、令和7年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和7年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 本校の質問
- 評価者の意見・質疑
- 質問・指摘の場合は本校の回答

### 【今後の取り組み】

2026年4月に施行される学校教育法の改正に伴い、今後は第三者評価（外部の識見を有する者による評価）に取り組むべく、学内の体制づくりを進めて参ります。委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見を参考にさせていただき、より良い学校運営を進めて参ります。

※本校は特定非営利活動法人職業教育評価機構の正会員です。

東京デザイン専門学校 学校評価委員会

## 学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

### 【関連業界団体・企業】

公益社団法人日本広告制作協会 常務理事

梶原 鉄也

本校グラフィックデザイン科卒業

アルファルファ アートディレクター

相澤 竹夫

### 【近隣団体】

商店街振興組合原宿表参道櫛会

株式会社 生活の木

マーケティング本部 ゼネラルマネージャー

重永 創

### 【卒業生】

本校ビジュアルデザイン科卒業

東京デザイン専門学校校友会 会長

宮崎 弘輝

本校グラフィックデザイン科卒業

鈴木 茉実

学校関係者評価者が所属する団体の詳細は公式サイトをご参照ください

公益社団法人日本広告制作協会 <http://www.oac.or.jp/>

特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会 <https://www.typography.or.jp/>

商店街振興組合原宿表参道櫛会 <https://omotesando.or.jp/>

株式会社生活の木 <https://www.treeoflife.co.jp/>

## 基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-1】理念・目的・育成人材像
----------------------

この項目は【本校】の方々からご意見をいただいています。

### 本校質問

- 日本人と留学生で主体性の違いを感じることはあるか。

### 評価者意見・質疑【本校】

- 留学生は意欲の2極化が顕著になっている。日本人学生も前向きな学生とそうではない学生の差があるが、高校時代の様々な経験を経て専門学校で新たにチャレンジしようとする学生もおり、講師の指導方法も変化してきている。
- 留学生はモチベーションの高い学生が多いと感じる。留学生は大学、社会人を経験してから入学し年齢層も幅広く授業も熱心に受けている印象が強い。日本人学生は明確な目標を持っていない学生が多いと感じる。以前は目標をもって入学する学生が多かったが、今は入学してから自分探しをしている学生が多いように感じる。

## 基準2 学校運営

点検項目【2-2】運営方針
---------------

点検項目【2-3】事業計画
---------------

点検項目【2-4】運営組織
---------------

点検項目【2-5】人事・給与制度
------------------

点検項目【2-6】意思決定システム
-------------------

点検項目【2-7】情報システム
-----------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準3 教育活動

点検項目【3-8】目標の設定
----------------

点検項目【3-9】教育方法・評価等
-------------------

点検項目【3-10】成績評価・単位認定等
----------------------

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】【本校】の方々からご意見をいただいています。

### 本校質問

- 就職前に身につけてほしいスキル、社会的マナーなど自学で学んでほしいことはあるか。

### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】

- 一番大切なのは好奇心であり、意欲があるかどうかで将来に差がつく。
- 今の若い人は答えをすぐに求めてしまう傾向にある。結果をすぐに望んでしまい過程が糧になることを理解していない。悩んで壁にぶつかっていいから好きなことに取り組んでほしい。
- 「好きを探す」を促していくといいのではないか。

- エクステンションスタディはいい取り組みだと思う。基本的なグラフィックデザイン力に加え、何を目標にするかが大切になる。
- 大切なのは人間力であり、そのためには趣味や好きなことなど多方面に自分を広げていけるようなことに取り組んでほしい。

本校質問

- デザイン業界におけるAIが及ぼす影響力と、今後のAIとのかかわり方について伺いたい。

評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】

- デザイン業界も大きく影響されている。デザインもある程度のことはAIでできてしまうため、クライアントの意識の持ち方を危惧している。「これでいい」レベルの到達時にデザイン業界の仕事は終わってしまうため、今後の課題となっている。
- 指示を受けて作業するデザインは消えていく。AIにはできない、人間だからこそできる「考える力」でデザインをしていかなければならない。AIにできないこと、人間にしかできないこと、にこだわっていきたい。
- 需要と供給のバランスでは、相当の部分をAIが供給することになるため危機感を持っている。
- 現在はデザイン業界ではなくクライアントのために効率化をする職業のため、AIを積極的に活用している。
- AIに対する考え方や接し方を学校教育で教えていくことが大切となる。

本校質問

- 授業や課題制作でAIを活用する学生は増えているのか。

評価者意見・質疑【本校】

- 留学生はAIを活用している学生が多い。途中経過を重要視している。結果だけ見ると分からないが、デッサンなどの実力を見ていると自力で制作したものか疑わしいものはある。AIを全否定はしないが、課題のすべてをAIで制作すると授業の意味がないので、途中経過を大切にしていきたい。

点検項目【3-1-1】資格・免許の取得の指導体制
--------------------------

点検項目【3-1-2】教員・教員組織
--------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

#### 基準4 学修成果

点検項目【4-1-3】就職率
----------------

点検項目【4-1-4】資格・免許の取得率
----------------------

点検項目【4-1-5】卒業生の社会的評価
----------------------

この項目は【関連業界団体・企業】【近隣団体】の方々からご意見をいただいています。

## 本校質問

- コロナ以降、就職での採用の変化はあるか。また、働き方の変化に伴い採用も変化しているか。

## 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【近隣団体】

- 採用での変化はあまり感じないが、若い人は受け身で待ちの姿勢になっていると感じている。
- 業界団体主催で学生対象のアワードがあるが、主催側は社会と関わる学生の意欲を見ている。プレゼンを伴う某アワードでは、高校生がしっかりとしたプレゼンを行い感心した。
- 就職では「いかに自分自身をアピールできるか」が重要となる。ある程度のスキルは経験で伸ばすことができるので、自身が積極的に経験を積む姿勢をもつことが大切になる。
- 「デザインが社会にどのように貢献しているか」を意識することが大切。当団体では学生にどのように伝えていくか、課題として取り組んでいる。
- 小売業は人手不足だが、学生は進路の候補として関心を持っているか。

学校からの回答 >はじめの選択肢はデザイン制作、ものづくりの希望が大半である。就活初期から小売りに目を向ける学生は少ないが、長期に渡り就活をする学生が多いため、就職が決まらず選択肢を広げていく中で小売りの接客や販売も少なからず出てくる。

## 基準5 学生支援

点検項目【5-16】就職等進路
点検項目【5-17】中途退学への対応
点検項目【5-18】学生相談
点検項目【5-19】学生生活
点検項目【5-20】保護者との連携
点検項目【5-21】卒業生・社会人

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準6 教育環境

点検項目【6-22】施設・設備等
点検項目【6-23】学外実習・インターンシップ等
点検項目【6-24】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-25】学生募集活動点検項目
点検項目【7-26】入学選考

この項目は【関連業界団体・企業】【卒業生】の方々からご意見をいただいています。

#### 本校質問

- 入学希望者に対するアプローチについて、本校での SNS の情報配信にアドバイスはないか。

#### 評価者意見・質疑【関連業界団体・企業】【卒業生】

- 本校の入学相談部でインスタやTikTokを使ってコンテンツを制作しているが、学校や学生の雰囲気や、自分が入学したらどのような感じになるのかを見せることが大切と感じている。リアルな雰囲気を伝えるには在学生の協力が大切だが、学校の公式 SNS があることを知らない学生が多い。
- 学生に公式 SNS を周知した上で学生アンバサダーなどを設け、興味ある学生にコンテンツの制作を任せるなど、学生目線のリアルなコンテンツを考えてもらうと今よりも効果が得られると思う。
- 学生募集における広報活動においても、学校の理念を明確化することが大切。  
「この学校はどんな学校か」見る側も意識して見ている。
- 自身は大学卒業後に写真の専門学校に進学した。大学ではないものが学べる、自分の将来のためになるものが得られる、と感じていた。
- 伝える手法は様々あるが、「この学校はどんな学校か」を要約したメッセージがあると良いと思う。

#### 本校質問

- 情報収集ではどのような SNS を使用しているか。

#### 評価者意見・質疑【卒業生】

- 主に Instagram を多く利用するが、進学をする上で学校を調べるならば WEB サイトを使用する。気になることがあれば WEB サイトから Instagram を見ることもある。今後は TikTok を強めていけると良いと思う。動画制作が好きな学生もいるので、学生に協力してもらう案も良いと思う。

点検項目【7-27】学納金
---------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

### 基準8 財務

点検項目【8-28】財務基盤
----------------

点検項目【8-29】予算・収支計画
-------------------

点検項目【8-30】監査
--------------

点検項目【8-31】財務情報の公開
-------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準9 法令等の遵守 社会貢献・地域貢献

点検項目【9-32】関係法令、設置基準等の遵守
-------------------------

点検項目【9-33】個人情報保護
------------------

点検項目【9-34】学校評価
----------------

点検項目【9-35】教育情報の公開
-------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。

## 基準10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-36】社会貢献・地域貢献・国際交流
---------------------------

点検項目【10-37】ボランティア活動
---------------------

この項目は、ご意見がありませんでした。



学校法人原宿学園

## 東京デザイン専門学校

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-62-8

学校関係者評価報告書についてのお問合せ先

学務部 TEL 03-3475-0172